



「日本の戯曲研修セミナー」@ オンライン2022

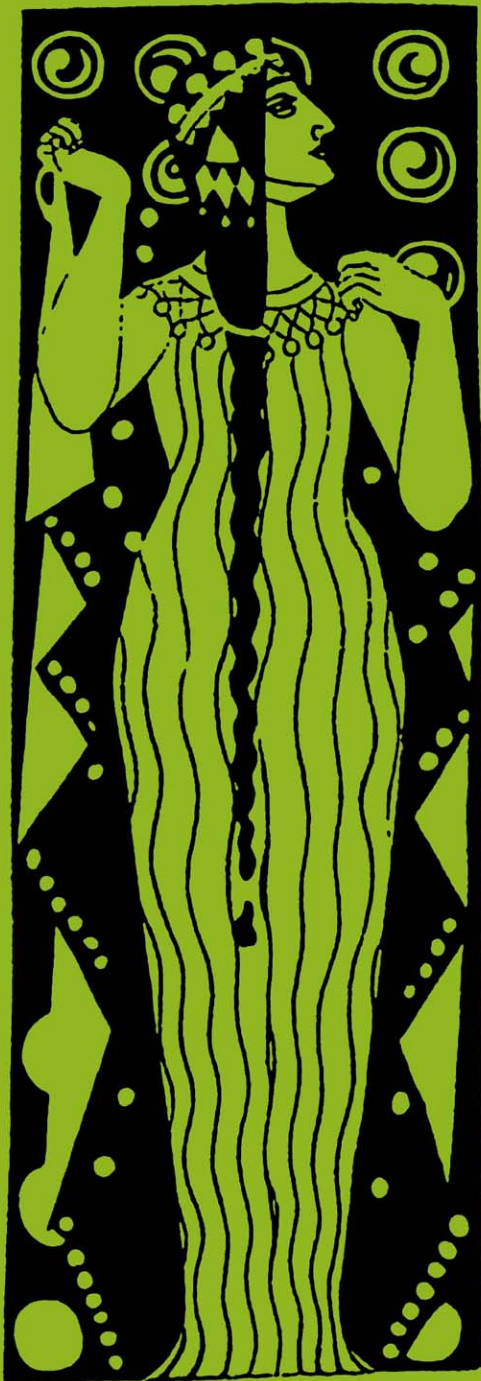
雑誌『青鞆』を読む！

青鞆

青鞆(せいとう)とは — 1911年、平塚らいてうが主唱して結成した青鞆社の機関誌。野上弥生子、長谷川時雨、伊藤野枝、田村俊子、岡本かの子、神近市子らが参加。これらの人びとを〈青鞆派〉と呼ぶ。『青鞆』は初め女性文芸雑誌であったが、のち伊藤野枝を中心として、貞操問題や墮胎問題といった婦人問題の啓蒙誌となり、新しい女性の目ざめと解放に貢献した。1916年廃刊。なお青鞆はブルー stockings の訳。日本のフェミニズムに大きく貢献した。 出典：百科事典マイペディア

Blue stocking せいとう

挿絵は創刊号の表紙より。社則第1条に「女流文学の発達を計り、各自天賦の特性を発揮せしめ、他日女流の天才を生まむ事を目的とす」と記した。



青月

日本の戯曲研修セミナーオンライン企画第二弾では、平塚らいてうの「元始、女性は実に太陽であった。」で有名な『青鞆』を取り上げます。日本初の女性による文芸同人誌『青鞆』に掲載された戯曲のうち、7人の作家の合計13作品を、劇作家や演出家として活躍する参加者が読んだ上で、それぞれの自由な視点から作家や戯曲を紹介し、ディスカッションを行います。4ヶ月連続の企画を通して、「封建的な在り方からの女性の解放」を訴えた明治期の世相や女性たちの思想を、「戯曲」という入り口から探索しようという試みです。演劇研究者である井上理恵氏のオープニングレクチャーも必見。オンラインで、世界のどこからでもご見学いただけます。

見学&ディスカッション参加者募集！

戯曲

に関わる
すべての人に
開かれた
セミナーです

オンライン版

#青鞆を読む！

2022/10/20^木 11/22^火

12/20^火 2023/1/10^火

19:00 – 22:00

[会場] Zoom

一般社団法人 日本演出者協会



文化庁委託事業
「令和4年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」